

## 令和5年度県立高等学校入学者選抜 合否判定基準【一般・2次】

沖縄県立那覇工業高等学校

- 調査書、学力検査等の成績及び面接の結果を基に、合否判定を行う。なお、調査書と学力検査等の成績との比重は、5対5とする。
- 各科・コースごとに、相関図を作成し、得点の高い順に並べ、「A圏」「B圏」および「C圏」を設定し、総合的に合否判定を行う。

### 〈各圏の設定〉

- A圏：内申、学力検査に基づいて募集人員の80%程度の範囲。  
※A圏の中で審議事項を有するものをA'とする。
- B圏：募集人員の110%程度の範囲で、そこからA圏を除いたもの。  
※B圏の中で審議事項を有するものをB'とする。
- C圏：A圏とB圏を除いた残りのもの。

〈審議事項〉 次のいずれかに該当する者は、審議の対象とする。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>① 調査書の「特別活動の記録」及び「行動の記録」に○が1つもない<br/>また、記録及び所見の内容が著しく悪い</li><li>② 正当な理由が無く、各学年の欠席が10回以上ある<br/>また、届出であっても、80日以上欠席がある</li><li>③ 評定に1がある</li><li>④ 学力検査で9点以下の科目がある</li><li>⑤ 面接評価が「C」である</li></ul> |
|---|